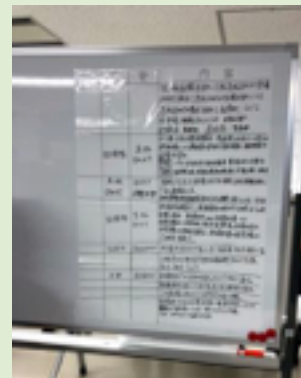


Code Orange

第62号

大阪DMAT研修 2018年9月1日

9月1日、2日に第12回大阪DMAT研修が行われました。当センターからは、医師2名、看護師1名、業務調整員1名が参加しました。研修内容は、災害医療の概論や災害医療対策の原則などの座学から、職種別に分かれての診療やトリアージの実習、衛星電話やトランシーバーの実習などがありました。また、他院のチームと合同での机上シミュレーションもあり、ディスカッションをしながら楽しく学ぶことができました。2日目には実技・筆記試験と、研修の総まとめである列車脱線事故を想定した救護所運営の実践がありました。緊張の中、研修で得た知識とスキルを発揮すべく頑張りましたが、反省点や改善点も多々ありました。みっちり2日間、長いようであつという間に研修は終わり、無事に大阪DMAT隊員となることができました。今後も訓練を重ね、災害時に自信をもつて的確に業務を遂行出来るよう頑張ります。



災害訓練 2018年9月11日

9月11日午前11時上町断層地震マグニチュード7.5 住吉区震度6強の地震が発生し発生直後を想定してセンター内災害訓練が行われました。今回の訓練の目的は『PDCAサイクルを意識したBCPの見直し』で、目標は『①災害対応職員の業務確認と対応』『②院外大量受け入れ患者の把握』『③受援ルール作成』として行われました。今回初めて応急危険度判定士の方が参加され発災後の建物の判定が行われました。DMATも府庁の災害対策本部での訓練、センター内災害訓練に参加しました。今回の訓練で検証された結果が、BCPマニュアルに反映されます。周産期医療の災害訓練も実施されており今回の訓練結果を基にして周産期の災害時の対応の整備が行われます。

大阪北部地震 2018年6月18日

7時58分大阪北部を震源としたマグニチュード6.1の地震が発生しました。当センターでも災害対策本部が立ち上げられましたが、DMATは大阪府庁のDMAT調整本部で活動をしました。センターに残ったDMATもODCCに集まり、支援及び受け入れの必要性の検討などをディスカッションしながら府内の情報収集を行いました。災害はいつ起きてもおかしくありません。常に対応できるように心がける必要があると感じました。

